

移乗用具いろいろ ～平塚橋ホーム～

平塚橋ホームでは、ご利用者に負担がなく安全・安心の介護を目指し、複数の移乗機器の導入を施設全体で図っています。

主なものとして、ベッドから車いすに移る時にハンモック型のシートでご利用者を持ち上げて移る床走行吊り上げ式リフト、同じくベッドから車いすに移る際に、ベッドと車いすの間にボードを渡し、その上を滑って移動するスライディングボードがあります。

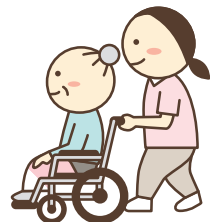
リフトの導入当時、職員は「抱える介護」と「リフト導入」の狭間で悩んでいるようでした。ご家族の中には、初めて見るリフトに戸惑う方や、興味を持たれる方などさまざまでした。



スライディングボード



床走行吊り上げ式リフト



導入に際し、床走行吊り上げ式リフト、スライディングボードの勉強会を行い、実践で回数を重ねるうちにスムーズに使用できるようになりました。また、職員自身が移乗機器を体験することで、介助される気持ちを理解することができました。

職員リレーエッセイ



平塚橋ホーム
後藤 冬美

家族を預けるということ

ご家族が大切なご利用者を施設へ預けられているように、私も子どもを保育園へ預けています。保育園へ迎えに行った際、今日はどう過ごしていたのか、ちょっとしたことで、少しでも伝えていただくと嬉しいものです。ささいなことでも教えてくれる先生は、うちの子をみて下さってるんだな、と思いますし、こちらからも話しかけやすいです。

私は普段の日常生活を通じ、ご本人様に信頼していただけるよう、話しかけられやすい雰囲気や援助していくことはもちろんですが、ご家族に対しても話しやすい環境づくりをすることが大切だと思っています。信頼関係があれば細かい情報も共有でき、より良いケアに繋がると考えています。そしてご家族には挨拶だけではなく、ちょっとしたことで伝えていけるようにしています。私達からみて毎日お変わりなく過ごされていても、「特にお変わりないです」という言葉は使わないようにしています。食事の様子だったり、日中の過ごし方、夜間はよく眠られているか等、自分だったら知りたいな、ということをお伝えすることで、ご家族も安心できるはずですよ。

私は大切な子どもを保育園に預ける側になり、改めてご家族の気持ちを知ることができました。これからさらにご利用者、ご家族の気持ちに寄り添った援助をしていきたいです。



お願い

今年の冬は例年よりも暖かく、過ごしやすい日が続きましたが、新型コロナウイルスの影響で、さまざまなイベントの中止、学校の休校など、今までに経験したことがないようなことが起こっています。ご利用者、ご家族の皆さまには面会制限など多大なるご協力をいただいております。

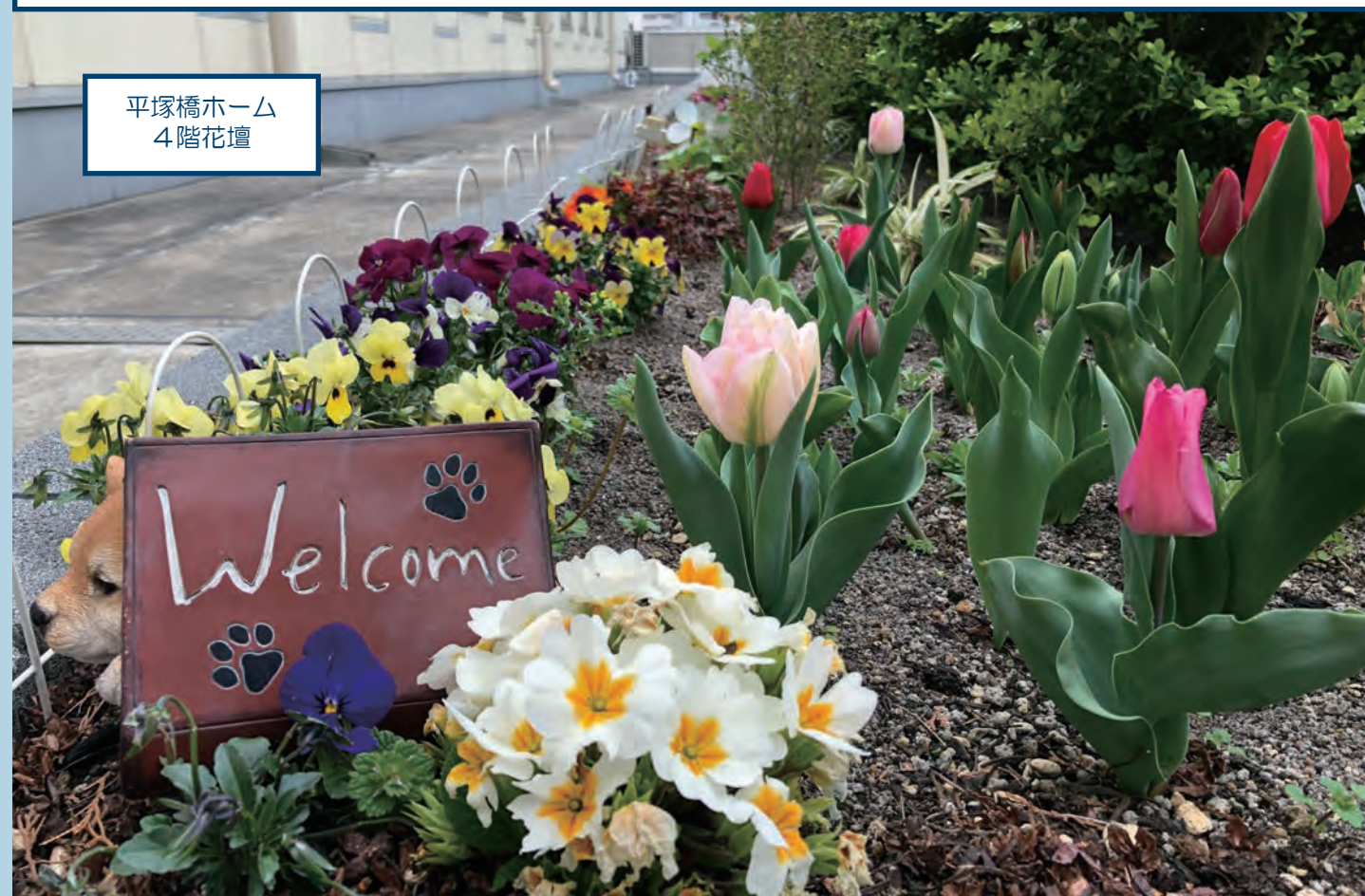
館内では、アルコールでの消毒をはじめ、換気、うがい、手洗いなどの感染防止対策を行っております。これからもご利用者の健康を第一に考え、職員一丸となって対応してまいります。皆さまのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



広げよう福祉の輪！

三徳だより

第101号 2020年(令和2年)冬 一季刊
発行：社会福祉法人三徳会



平塚橋ホーム
4階花壇

特別養護老人ホーム 成幸ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ 〒142-0053 品川区中延1-8-7 TEL.(代)03-3787-3616 FAX.03-3783-6580 santoku-seikou@ap.wakwak.com
品川区立戸越台特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ 〒142-0041 品川区戸越1-15-23 TEL.(代)03-5750-1054 FAX.03-5750-1055 santokukai.togoshi-h@proof.ocn.ne.jp 杜松在宅介護支援センター http://www.togoshiginza.net/togoshi/machi/topics/topics.cgi 〒142-0042 品川区豊町4-24-15 TEL.(代)03-5750-7707 FAX.03-5750-7709
品川区立荏原特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ 〒142-0063 品川区荏原2-9-6 TEL.(代)03-5750-2941 FAX.03-5750-3695 santokukai@aw.wakwak.com 小山台在宅介護支援センター 〒142-0061 品川区小山台1-4-1 TEL.(代)03-5794-8511 FAX.03-5794-8512
品川区立平塚橋特別養護老人ホーム・ショートステイ 〒142-0063 品川区西中延1-2-8 TEL.(代)03-5750-3632 FAX.03-5750-3642 hiratuka-ow01@santokukai.com
品川区立小山在宅サービスセンター「小山の家」 〒142-0062 品川区小山7-14-18 TEL.(代)03-5749-7251 FAX.03-5749-7252 小山在宅介護支援センター TEL.(代)03-5749-7288 FAX.03-5498-0646



「身近な福祉用具に触れてみよう」

令和元年11月30日(土)に平塚橋ゆうゆうプラザのコミュニティ室において、福祉用具の展示会を開催しました。『身近な福祉用具に触れてみよう』と題して、品川区内で福祉用具のレンタルや販売等を行っている事業所の皆さまにご協力をいただいて実施いたしました。当日は、普段から皆さまがご使用になっている杖や歩行器、リハビリシューズをはじめとして、スロープや簡易型の手すりなどの自宅で使用できる福祉用具の展示を行い、日頃から使い慣れている道具の進化を目にさせていただき、実際に触れていただきました。在宅介護支援センターからケアマネジャーが参加し、また福祉用具事業所からは福祉用具専門相談員の方にご参加いただき、来所された皆さまが体験しながらの相談会となりました。

マッスルスーツの展示も行い、実際に装着し体験をしていただくことができました。マッスルス

ーツとは、リュックサックのように背負い、空気圧で動くアシストスーツで、重い物を運ぶ際や、中腰など同じ姿勢を続けなければならない時に装着すると、腰にかかる負担を軽減することができ、腰痛予防対策となります。介護サービスだけでなく、農作業や、雪かき、引っ越しなどの幅広い分野での利用も想定をされているそうです。今後、街中でも見かける機会があるかもしれません。

昨今、介護予防が重要と言われている中で「出来ることは自分で行う」ことは、とても大切なことです。ですが無理をせず、自分の身体に合った、さまざまな用具を活用して、楽しい生活を送っていきましょう。

ご自身の身体のこと、ご家族の心配ごと等があれば、お近くの在宅介護支援センターでご相談を承ります。いつでもお気軽に声をかけてください。



マッスルスーツと置き型手すり



歩行器でスロープ体験中

頑張れ「日本！」

今回は「オリンピックイヤー」にちなんで「東京2020パラリンピック」正式種目でもある「ボッチャ」のお話です。某建設会社のテレビCMでも流されているのでご存じの方も多いのではないかと思えます。「ボッチャ」はヨーロッパが発祥とされ、赤、または青のボールを投げ、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールにどれだけ近づけられるかを競う、老若男女、障がいのあるなしに関らず、全ての人と一緒に競い合えるスポーツです。

小山の家で始めたきっかけは、ボランティアの方がボッチャの道具を持ってきて下さった事でした。上から投げても、下から投げても、あるいは蹴ってもOK。そんなルールだからこそ、小山の家でも皆さまが楽しみながら参加できました。皆さまも、ぜひ一度体験されてみることをお勧めします。



小山の家

戸越台ホーム

工事着々と

大規模改修工事が行われている戸越台ホームは、昨年12月中旬に5階、6階の居室が完成、新年を新しいフロアで迎えることができました。



ご利用者の住まいとなる5階、6階は木目を基調としたモダンな空間で全体的に落ち着いた、心地よい空間となりました。居室はベッドとベッドの間に、家具調の仕切りがあり、多床室でも個人のプライバシーに、より配慮できるようになりました。

これまで仮の居室で過ごされたご利用者からも「辛抱したかいがあった」「こんなにきれいになるなんて」と好評です。

現在7階の特養とショートステイご利用者の居室、8階のデイサービスとリハビリ室の工事をしています。今年の8月には竣工予定です。あともう少し！

新しく生まれ変わる施設にワクワクしています。

平塚橋ホーム

8020受賞！

「8020(ハチマルニイマル)運動」という言葉は聞いたことありますか？

これは、平成元年から厚生省(現厚生労働省)と日本歯科医師会が提唱している運動で、80歳になっても20本以上の自分の歯を保ちましょう、というものです。20本の歯があれば、大抵のものは噛むことができるそうで、健康な食生活を送るためには重要です。

この8020運動に、平塚橋ホームから2名の方が受賞し、賞状と記念品をいただきました。みなさんも今からお口のお手入れをし、80歳で20本を目指してみませんか？



施設あれこれ

成幸ホーム

元日開催、かるた大会



元日におせち料理をいただいた後はちょっとしたのんびりした時間になりました。そこでご利用者皆さんにかるた大会を提案。「お正月らしくていいね！」と集まった皆さんでかるた取りを始めました。

かるたを見つめるその表情は真剣そのもので、職員が札を読み上げると「はい！」と気合のこもった声で取り札に手を伸ばしていました。

読み手の腕前なのか、「の」と「お」を間違えたり、お手付きをしてしまったりと、笑いあり・涙あり？の盛り上がりとなりました。

全ての札を取り終えたのちには、それぞれの枚数を数えてだれが一番なのかと固唾をのんで見守りました。優勝者には豪華景品…というわけにはいきませんでした。一勝負した後にはお茶の時間となり、ホットなお茶でほっと一息。

荏原ホーム

作品展を開催しました

荏原複合施設では令和元年11月1日～11月30日の期間に作品展を開催しました。



サービスセンター、ホーム、ショートステイのご利用者、ご家族、地域住民、園児、小学生などの作品を約250点展示しました。

サービスセンターの皆さんは、出展することを目指の一つとして、日頃から手芸、切り絵、習字、美術、箱庭クラブに楽しく参加しています。

期間中は出展して下さった地域の方が見学に来られました。中でも園児は見学だけでなく、サービスセンターにも遊びに来てくれて、かわいい歌を披露、そして一人ひとりに握手をしてくれました。可愛い園児にサービスセンターの皆さんは笑顔となり、楽しいひと時を過ごしました。

来年も多くの作品が展示できるように、皆さんの作品をお待ちしています。